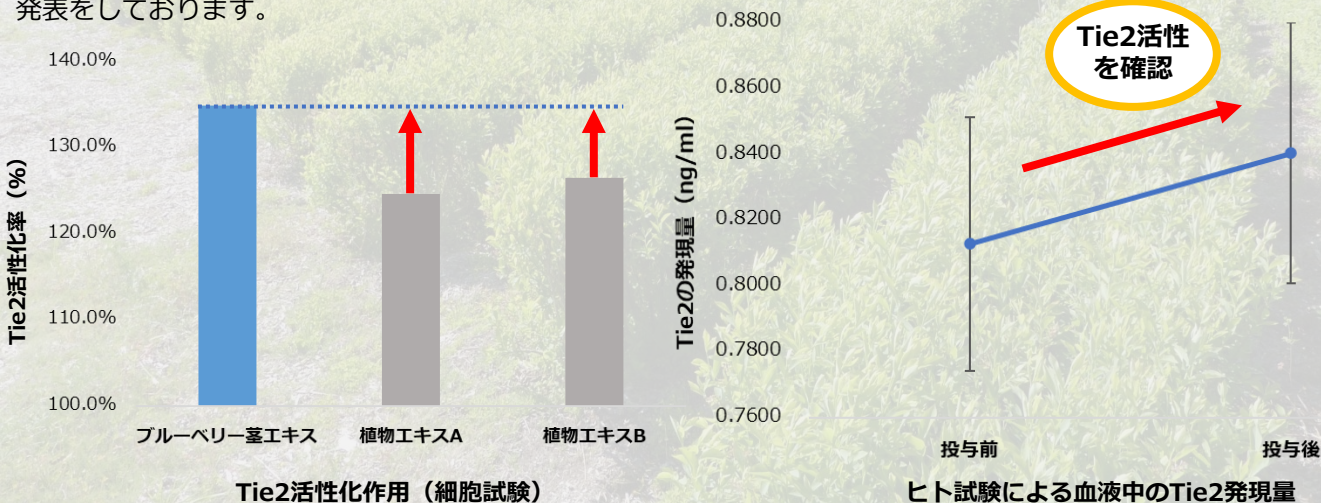


宮崎県産 ブルーベリー茎エキス末

一血流改善・腎機能・メタボリックシンドローム向け一

宮崎大学で育成されたブルーベリー葉茎専用品種「くにさと35号」を使用

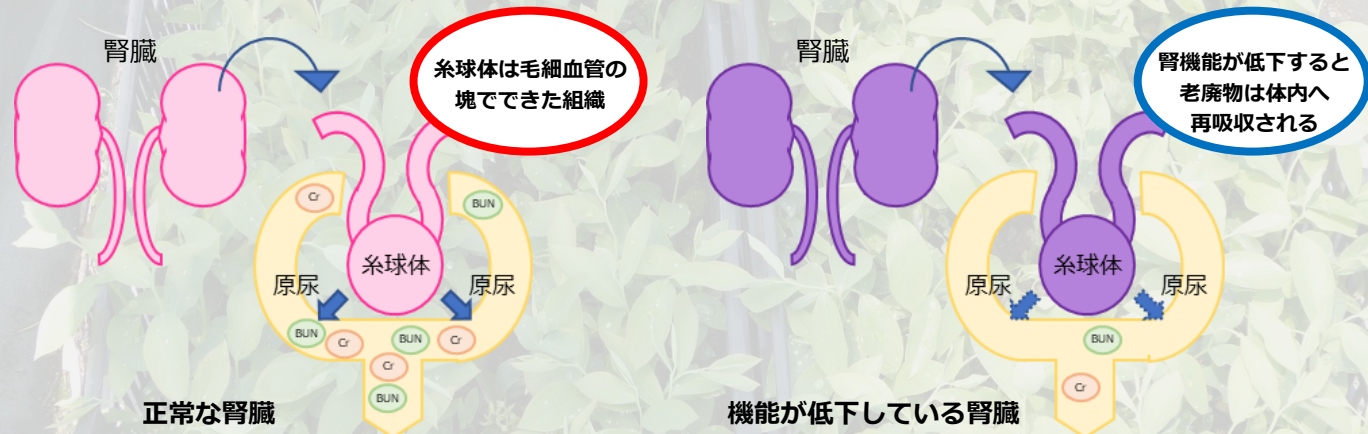
宮崎大学でラビットアイブルーベリーの品種改良を重ね、プロアントシアニジンが多く含まれる『くにさと35号』の育成に成功！ 宮崎県内でブルーベリーの葉茎専用品種として無農薬栽培をしております。ブルーベリー茎エキスは松樹皮抽出物と同程度の抗酸化作用を有することを確認しております。『くにさと35号』品種のプロアントシアニジンはこれまでにメタボリックシンドロームの改善効果や新型コロナウイルス抑制作用に関する研究などの発表をしております。



細胞試験、ヒト臨床試験にてブルーベリー茎エキス末は、毛細血管の修復・改善効果がある『Tie2の発現量』を高める効果があることを確認しており、血流改善効果、疲労感の低減、育毛、冷え性、アイケア、美容、腎機能の改善効果が期待できます。

腎臓に関して

腎臓は、体内の不要な水分などを尿として排泄させる臓器です。1つの腎臓には約100万個の糸球体があり、**糸球体は「毛細血管の塊」でできた組織**です。腎臓は血液を濾過して老廃物や余分な塩分を尿として体の外へ排出する重要な組織になります。腎機能が低下すると、体内から老廃物が排泄されなくなり、腎臓の機能が十分に果たせなくなります。何もしないでいると末期腎不全になり、人工透析や腎臓移植を受けなければならなくなります。そのため、Tie2活性効果の高い原料は毛細血管の修復機能を促し、腎機能改善効果が期待できます。



血中尿素窒素（BUN）は、体内でエネルギーとして使われたタンパク質の最終代謝産物で、老廃物の一種です。また、クレアチニン（Cr）は筋肉で作られる老廃物で、糸球体によって濾過される代表的な物質です。BUN、Crは腎機能の指標として用いられる代表的な成分です。

犬・猫の臨床試験

(1) ブルーベリー茎エキス末のヒト試験による毛細血管の改善作用(200mg/60kg/日)を目安に犬①に投与。犬②、③に関しては安全性試験も含め3倍量を投与し、腎機能改善効果があるか試験を行った。

※日本獣医腎臓泌尿器学会,第12号(1):23-27,2020にて発表

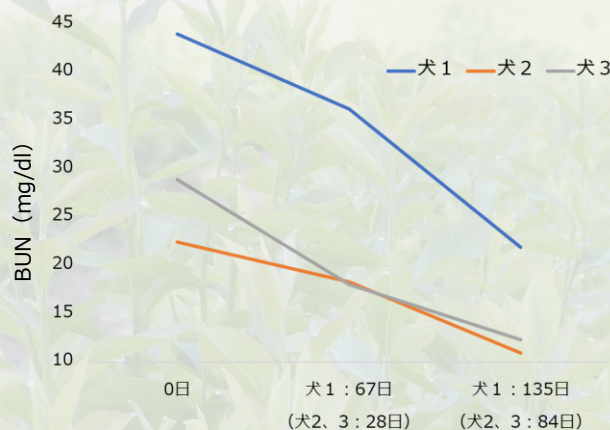


図. BUNの推移

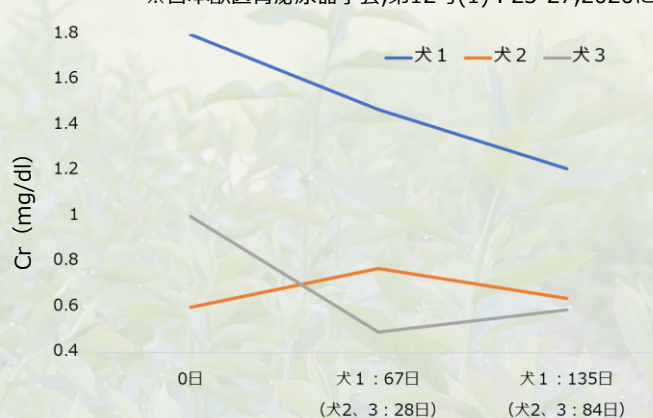


図. Crの推移

(2) 腎機能や抗炎症効果のあるアンチノールを投与している猫(体重:4kg)に追加でブルーベリー茎エキス末配合製品(ブルーベリー茎エキス末30mg×2回)を投与し、腎機能改善効果があるか試験を行った。

※CLINIC NOTE 2020 NOVEMBERにて発表

猫	0日	8日	22日	43日	80日
BUN (mg/ml)	67	56	64	44	44
Cr (mg/ml)	4.9	4.9	3.1	3.9	3.7

43日以降から改善し、
歩けるようにまで回復

ブルーベリー茎エキス末は毛細血管の修復が期待できるTie2活性作用や抗酸化・抗糖化作用を有しており、ブルーベリー茎エキス末を投与することで、腎機能障害のある犬・猫に対して腎機能改善効果があることが示唆された。

プロアントシアニジンと腎機能の改善効果に関して

タイトル:「高齢女性の腎機能とプロアントシアニジン摂取の関係について」(2013年)

試験方法:健康な75歳以上の女性948名に対して3群に分けて5年間実施。

プロアントシアニジン摂取の「低摂取」「中摂取」「高摂取」の3群に分けて、慢性腎不全になった人数、腎機能に關係する血液の数値(血清タンパク質C、推算糸球体濾過量(eGFR))を測定

Association of Proanthocyanidin intake with Renal Function and Clinical Outcomes in Elderly Women (2013) から引用

プロアントシアニジン摂取量 (mg/日)	低摂取 (<141mg/日)	中摂取 (141<229mg/日)	高摂取 (≥229mg/日)
患者数 (人)	316人	316人	316人
血清タンパク質C (nmol/L)	1.24±0.02 ^a	1.18±0.02 ^b	1.13±0.02 ^c
eGFR(GFR<60) (人)	151人	117人 [*]	99人 [*]
慢性腎不全患者 (人) [%]	32人 [10%]	16人 [5%]	12人 [4%] [*]

プロアントシアニジンを142mg/日以上摂取することにより腎臓病に対するリスクが低減することが報告されました。142mg/日はチョコレート20g、ナッツ60gに相当しますが、カロリーの過剰摂取が懸念されます。そのため、プロアントシアニジンの高い原料を摂取することは大変重要です。ブルーベリー茎エキス末は犬・猫の臨床試験において効果を確認しており、ブルーベリー茎エキス末に含まれるプロアントシアニジンは腎機能改善効果が期待できます。

・商標に関して

「Tie2 PLUS」のロゴの商標は100mg/日以上配合により使用可能です。

※当社の登録商標の使用を希望される場合は、当社への事前の連絡および当社の許諾が必要となります

会社名:株式会社ビオラボ
兵庫県神戸市中央区港島南町6-7-4 神戸健康産業開発センター301号
TEL:078-265-1833 FAX:078-265-1834

・無断複写、流用は著作権法上、禁じられています。転載を希望される場合は、事前に弊社までご連絡ください。
・消費者向け製品発売の際には、医薬品医療機器法・景品表示法等の関連法規を順守してください

